

子どもたちの通学路など 新冠建設協会ボランティア清掃



4月3日、新冠建設協会（佐藤淑人会長・19社）に加盟する町内の建設業者によるボランティア清掃が行われました。

この活動は、毎年、新学期を前に、児童たちが気持ちよく通学できるように実施し、参加者は各地区に分かれ、排水溝周りの枯草撤去や道路脇にたまった砂の除去などの清掃作業を行いました。

各小中学校で 入学式が行われる



4月7日、町内の小中学校で入学式が行われ、新冠小学校には35名、朝日小学校には10名、新冠中学校には42名の新1年生が入学しました。

各学校とも入学式では、新1年生たちが緊張した面持ちで入場する中、保護者や学校関係者、上級生の温かい拍手で迎えられました。

その後、新1年生たちは校長先生からの式辞に耳を傾け、自分の名前を呼ばれると元気よく返事をして、これから始まる新たな学校生活の第一歩を踏み出しました。

町立国保診療所改築基本設計の プロポーザルを町民に公開



4月5日、レ・コード館で新冠町立国民健康保険診療所の改築基本設計プロポーザルが行われました。

この日は、一次審査で選定された業者が、町の示したテーマに基づいた設計などを提案し、その様子は町民限定で公開されました。

設計業者は選考委員が提案を審査し、最も適した業者を選定しました。

パークゴルフ場がオープン 愛好者が訪れ新シーズンを楽しむ



4月14日、西泊津ヒルズパーク・パークゴルフ場の今年度営業が始まりました。

オープンを待ちわびた愛好者が次々と訪れ、久しぶりのパークゴルフを楽しんでいました。

林間コースや起伏に富んだ全36ホールは、初心者から上級者まで幅広く楽しめます。今年も11月中旬まで営業されます。

日高食肉流通センター 第2カット工場が完成



4月18日、字西泊津の株式会社日高食肉センター（出田純治代表）が建設を進めていた、日高食肉流通センター第2カット工場が完成し、竣工式と内覧会が行われました。

今回の第2カット工場開設により、食肉の加工量が約1.5倍となり、新冠町で加工された食肉の国内流通増だけでなく、国外輸出量の増加も期待されます。

ま ち の 話 題

あ れ こ れ

文藝にいかつぶ

終刊をむかえ特別展示

3月11日から4月21日まで、図書プラザで「文藝にいかつぶ」の特別展示が開催されました。

この展示は、「文藝にいかつぶ」が昨年12月の発刊をもって終刊したことを記念したもので、創刊号からの全40号や、表紙に用いられた久保田実氏、遠藤佳代子氏の原画などを展示し、多くの方々が「文藝にいかつぶ」の終刊を惜しむ気持ちを抱きながら、鑑賞していました。



現在、「文藝にいかつぶ」の販売は終了していますが、図書プラザでは全40号を所蔵しており、閲覧と貸出が可能です。

株ノースヒルズ・大山ヒルズが 町に多額の企業版ふるさと納税



4月11日、鳥取県伯耆町で、株式会社ノースヒルズ・大山ヒルズ（前田幸治会長）主催の「大山ヒルズ開場20周年感謝の集い」が開催されました。

当町に本場を構えるご縁から、この集いに町長が招待され、当町が掲げる「産業振興の活性化によるまちづくり」に対し、1千万円の寄附をいただきました。

オレンジカフェ開催 「さくら餅作り」を楽しむ



4月12日、字朝日のcafeゆるり（杉田友子代表）で、オレンジカフェ「さくら餅作り」が開催されました。

cafeゆるりでは誰もが参加でき、和やかに集うことができるオレンジカフェを開催し、この日は杉田扶佐子氏のサポートを受け、餅米と道明寺粉で桜もちを作り、会話をしながら楽しく試食をしました。

ボランティアサークル「ちよぼら」 21年続く施設へのカット布寄贈



4月18日、本町多目的交流センターで、ボランティアグループ「ちよぼら」（村上美知子代表）がカット布を制作しました。

この会は、介護などで必要なカット布に着目し、施設に寄贈する活動を続けています。最近では、古布収集に苦労しているとのことでしたが、この日も楽しく、施設に寄贈するカット布を制作しました。

新冠町商工会青年部 認定こども園で鯉のぼり飾り



4月24日、認定こども園ド・レ・ミの敷地に、新冠町商工会青年部（西村修司部長・部員20名）の皆さんが、約70匹の鯉のぼりを飾りました。

鯉のぼりは、町民からの寄贈と、園児と女性部が一緒に作ったもので、部員は一丸となって、子どもたちが笑顔になることを願い、飾り付けを行いました。